



⑥安全・安心なまちづくり

総論

安心して暮らせること、安全に活動できることは、子育てしやすいまちづくりを進める上で欠くことのできない重要な要件です。そこで、地域において住民の見守りによる自主防犯活動を促進するため「生活安全パトロール隊」が全小学校区で結成され、約10,000人ものパトロール隊員が活躍しています。

また、子どもの交通事故防止のため、通学路での「文」マークの路面標示や、交通安全に関する啓発活動を進めています。

公園は市民にとって身近な憩いの場であり、子ども等が安全で安心して遊び、さまざまな世代の人との交流や多様な体験ができるよう、住民の意見を聞きながら、地域ニーズを踏まえた公園整備に努めています。

道路環境においては、歩道の新設や拡幅、段差解消などのハード面のバリアフリー化を行い、子育て家庭をはじめ、誰もが安全で快適に移動できる環境整備に努めています。

市営住宅においては、入居希望者の中で、特に住宅確保が困難と思われる多子世帯や母子・父子世帯に対し、募集戸数を優先的に確保しています。

このように、子育てしやすい安全・安心なまちづくりに向けて、犯罪防止や交通安全の推進、公園、道路、住環境等の整備を図るとともに、誰もがバリアを感じないまちづくりに取り組んでいます。

現状と課題

(ア) 公園や子育て支援施設など

(現 状)

「子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査」で、より力を入れてほしい子育て支援策を尋ねたところ、就学前児童と小学生の保護者の5割以上が、「公園や子育て支援施設等」を選択しています。また、同様の質問を小学校高学年生（4年生～6年生）に尋ねたところ、その5割が「公園や施設」を選択しており、保護者も子どもも、安全に安心して過ごせ、利用しやすい公園や遊び場に対するニーズが高い状況です。

(課 題)

- 子どもが安全に安心して遊べ、多様な体験や多世代の交流ができる身近な公園や遊び場を整備する必要があります。

(イ) 地域に対する体感治安

(現 状)

「子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査」で、子育てに関して日常悩んでいることを尋ねたところ、就学前児童と小学生の保護者の約1割が「地域の治安」を選択しており、安全に暮らす上での不安を感じています。

(課 題)

- 地域の自主防犯・防災活動などの取り組みを推進することにより、子育て家庭を含め市民の体感治安が向上するなど、安全・安心を実感できるまちづくりに取り組む必要があります。

(ウ) 道路などの都市環境と交通安全

(現 状)

「子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査」で、より力を入れてほしい子育て支援策について尋ねたところ、就学前児童の保護者の3割が「子育て家庭が外出した際に困らない道路などの都市環境」を選択しており、安心して外出できる都市環境の整備に対するニーズがあります。また、平成30年には市内で6,649件の交通事故が発生し、「自転車や車の運転マナーが悪い」などの市民意見もあります。

(課 題)

- 子育て家庭が安心して外出できるバリアフリーのまちづくりを推進する必要があります。
- 交通事故の防止活動を推進する必要があります。

(工) 住環境

(現 状)

「子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査」で、より力を入れてほしい子育て支援策について尋ねたところ、就学前児童と小学生の保護者の約1割が、「公営住宅への入居支援など住宅面での配慮」を選択しており、住環境の整備に対するニーズがあります。

(課 題)

子育て家庭に対して良質な住宅を確保し、子どもを生き育てやすい住環境の整備を進める必要があります。

◆保護者がより力を入れてほしい子育て支援策（抜粋）

区分	内容(割合)
就学前児童	・子育て家庭が利用しやすい公園や子育て支援施設等(52.2%) ・子育て家庭が外出した際に困らない、道路などの都市整備(31.9%) ・公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮(12.5%)
小学生	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(62.4%) ・公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮(9.2%)
中学・高校生	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(41.6%) ・公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮(11.8%)

資料：北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成25年度）
注：複数回答

◆子どもが希望する子育て支援策（抜粋）

区分	内容(割合)
小学生 (高学年)	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(54.6%) ・安全で暮らしやすい居住空間や道路環境の整備(34.1%)
中学・高校生	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(33.6%) ・安全で暮らしやすい居住空間や道路環境の整備(33.0%)

資料：北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成25年度）
注：複数回答

自転車の3人乗り（幼児2人同乗）について

自転車の3人乗り（幼児2人同乗）については、幼児2人同乗基準適合車マークのついた車体の強度など一定の安全基準を満たした自転車に、6歳未満の幼児を2人以内で同乗させる場合に限り認められます。

また、保護者は幼児にヘルメットをかぶらせるよう努めなくてはなりません。

主な施策

① 子育て家庭が利用しやすい公園・遊び場の整備

■地域に役立つ公園づくり事業

[建設局みどり・公園整備課]

身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで計画段階から地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指します。

② 安全・安心を実感できるまちづくりの推進

■生活安全パトロール隊の支援（地域防犯対策事業）

[市民文化スポーツ局安全・安心推進課]

地域住民の自主防犯活動を促進するため、「生活安全パトロール隊」の活動を支援しています。さらに、警察OBである安全・安心指導員が、パトロールの同行や指導、助言等を行い、地域の自主防犯意識の向上に努めています。

■パパママ救急教室

[消防局救急課]

乳幼児の命を守るための応急手当の知識と技術を新米パパママに身につけてもらい、子育てへの不安を少しでも和らげるため、「パパママ救急教室」を子育てふれあい交流プラザや子どもの館で定期的に開催しています。

③ 子育てに優しい都市環境の整備

■安全・安心な暮らしを支えるみちづくり

[建設局道路計画課]

JR等主要駅や公共施設周辺などの道路のバリアフリーをはじめ、人優先の安全・安心なみちづくりを推進し、歩行者や車いす、自転車の通行に配慮した道路整備に取り組んでいます。

④ 子育てしやすい住環境の提供

■住むなら北九州 定住・移住推進事業

[建築都市局住宅計画課]

本市への定住・移住を強力に推進するため、市外から移住する若年世帯等に対し、街なかの住宅を取得又は賃借する費用の一部を補助します。

■優良賃貸住宅供給支援事業（特定優良賃貸住宅）

[建築都市局住宅計画課]

特定優良賃貸住宅とは、「まちなか」において子育て世帯を含むファミリー世帯の定住を促進するため、本市の認定を受けて建設された優良な賃貸住宅です。その内、一部の住宅では、一定の基準を満たした入居者に対して家賃補助を実施しています。

⑤ 交通安全の推進

■子どもの交通安全

[市民文化スポーツ局安全・安心都市整備課]

歩行中や自転車乗車中における交通ルールを学ぶ「交通安全教室」の実施や、通学路であることをドライバーに注意喚起する「文マーク」の路面標示、新入学児童やドライバーへ事故防止の意識を喚起する「黄色い帽子」の配布等を実施しています。